



世界剣道選手権大会
女子日本代表主将

わたなべ
渡邊 タイ

合志市出身・熊本県警
合志市市民栄誉賞

完全
制覇



世界剣道選手権（7月4日～7日 イタリア・ミラノ）から帰国した 渡邊選手にインタビューしました



— 世界剣道選手権大会、女子団体戦優勝、おめでとうございます。

「ありがとうございます」

— 男女共に団体戦優勝、個人戦も男女共に表彰台を独占しました。

「まずは、ほっとした気持ちでいっぱいです。ふたを開けてみたら日本の完全制覇ということで、良かったと思っています」

— 日本の強さの要因は？

「大会に向けて、毎月合宿でやってきたこと、所作を含めて稽古でやってきたことができたと思います。試合となると、自分の力が出せるのか難しいところがありますし、それが世界大会となればより難しいところがあります。試合では何が起きるか分かりませんし。全員力を出せたところが日本の強さだったと思います」

— チームの雰囲気はどうでしたか？

「試合が進むにつれて、みんな感じるものがあったと思います。監督から“団体戦、個人戦あわせて10人でやっている気持ちで臨んで欲しい”と言われていました。団体戦メンバーも同じ気持ちで個人戦を乗り切り、個人戦の選手たちの雰囲気や勢いを上手くつかんでいったと思います。各々、不安な部分もあったと思いますが、10人が一つになったと思います」

— 主将という立場はどうでしたか？

「日本のトップ選手たちが集まった全日本をまとめていかないといけないという難しい部分もありましたけど、貴重な経験をさせてもらったと思います。“チームをまとめて勝つ”ということは、主将にしかできないことなので、大きな経験でした」



— 渡邊さんの次の目標は？

「全日本剣道選手権大会ですね。11月3日、初めて男女合同での開催となります。そこで優勝するのが目標です」

— 応援した皆さんにメッセージをお願いします。

「合志市から映像を通じて、また現地だと、それぞれ応援してくださった皆さんのおかげで、団体戦、個人戦共に全員力を出すことができました。感謝の思いでいっぱいです。次は全日本選手権に向けて頑張ります。私の姿を見て“頑張ろう”とか、“諦めないでやろう”とか、そう思ってもらえるような選手になれるよう、精進します」

